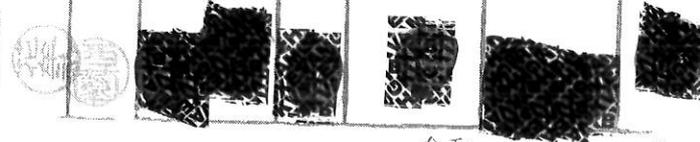


別記様式（第8条関係）



令和 7年 3月 25日



鹿屋市議会議員 西 蘭 美恵子
鹿屋市議会議員 花牟礼 薫 様



令和6年度鹿屋市議会政務活動費収支報告書

鹿屋市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項の規定に基づき、下記のとおり、関係書類を添えて報告します。

記

1 収入

政務活動費 240,000円

2 支出

150,872円

(単位：円)

項目	金額	備考
調査研究費	63,830	会派黎明に同行しての務調査費（令和6年7/22～7/24） （山口県岩国市議会・海上自衛隊岩国航空基地・海自第一術科学学校・県地方総監部・大和ミュージアム）
研修費	50,000	3/13「人口減少社会と地方財政①」「自人口減少社会と地方財政②」「孤独・孤立対策推進法」「地方創生20と財政」「これからの議会に必要な財政運営の知識」立命館大学・森裕之教授セミナー資料と動画データ 50,000円
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費	2,000	鹿児島県農業教育新興会会費（2,000円）
資料作成費		
資料購入費	35,042	「外国人児童生徒のための支援ガイドブック」2,200円、「多文化共生人が変わる社会を変える」2,200円、「企業防災とマネジメントシステム」2,420円、「防災のやっつけはいけない」1,100円、「使い切れない農地活用読本」1,980円、「ユビキタスとは何か」770円、「鳥獣害対策」1,980円、「鹿児島県地図」2,970円、「新データで読む地域再生」、「公民館に於ける災害対策ハンドマップ」、地方の地域福祉、「マンガでわかる！プレコンセプションケア」、「人口減少時代の農業と食」、「介護格差」（6冊計11,022円）、「全国農業新聞定期購読2024.4～2025.3月分」8,400円。
人件費		
事務所費		
計	150,872	

※備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。

3 残額 89,128円

項目	合計
調査研究費	63,830円

別紙No()

月	日	品名	金額	支払先	領収書番号
令和6年 7	17	会派黎明に同行し「山口県岩国市議会・海上自衛隊岩国航空基地・海自第一術科学校・呉地方総監部・大和ミュージアム」にて政務調査(7/22~7/24)するための旅費及び宿泊費	63,830	(有)旅くらぶ21	①
		計	63,830		

調査研究報告書（西園美恵子）

1 調査実施日

令和6年 7月22日（月）～ 7月24日（水）

2 出席者 岩松近俊会派長・梶原正憲議員・下本地隆議員・永山勇人議員・
伊野幸二議員・吉岡鳴人議員・安田謙太郎議員・西園美恵子議員

3 調査場所・調査事項

- (1) 山口県岩国市議会
「岩国基地の現状について」
 - ・全体説明
 - ・質疑応答
- (2) 海上自衛隊岩国航空基地
- (3) 海自第一術科学校
- (4) 呉地方総監部
- (5) 大和ミュージアム

4 調査報告

(1) 岩国市議会

「岩国基地の現状について」

【岩国市の概要】

平成18年3月20日に、岩国市、玖阿郡由宇町、玖阿町、本郷村、周東町、錦町、美川町、美和町の8市町村が新設合併し誕生した。合併により、行政面積は873.67km²、世帯数64,790世帯で、人口は125,506人である。合併後も、岩国市の区域を除き、旧町村名は残されている。但し、読み方が、「～ちょう」は「～まち」に、「～そん」は「～まち」に変更された。

山口県の最東部に位置し、小瀬川を挟んで、広島県と接している。広島市と周防氏の間地点に位置している。名勝錦帯橋や国の天然記念物・白蛇生息地でも知られている。また、瀬戸内工業地帯の一角を担い、中国山地に端を發し、広島湾に注ぐ錦川の作った三角州上の岩国飛行場には、在日米軍（海兵隊）と自衛隊（海上自衛隊）の基地が存在する。幹線交通網も東西を貫き、岩国飛行場、岩国港、新岩国駅、錦川鉄道などもある。錦帯橋、岩国城などを中心とした観光都市としての一面もあり、年間を通して観光客が訪れる。

都市の形態は「工業観光都市」である。また、岩国市役所職員数は、1,321人であり市長部局をはじめ7つの部局と、教育委員会である。岩国市議会は、定数28名で構成されている。

【岩国基地の現状について】

岩国市の面積873.67km²の内、基地の面積は8.672km²（岩国市は山間部が多いが、基地は市全体の平野部の約25%を占めている）である。

滑走路1本（延長2,440m、幅60m）、格納庫、管制塔、住宅施設、娯楽施設、ペリースクール、メリーランド大学、弾薬庫、港湾施設、ハッシュハウス等がある。

航空機墜落の危険性や騒音による日常生活の危険性を除去する為、沖合移設を計画している。

米海兵隊（第12海兵航空群・第152空中給油送中隊・岩国海兵航空基地隊等）及び第5空母航空団の家族も含め、約10,000人が生活している。また、海上自衛隊（第31航空群、第11航空隊等）は1,600名が任務に当たっており、各隊の装備についても詳細な説明も受ける。

【在日米軍再編の概要】

- ① 厚木から空母艦載機部隊（F-35期）の移設については、平成30年3月30日に移駐が完了している。
- ② CH-53D部隊（8機）のグアム移転は、既に米本国へ移転済である。
- ③ KC-130空中給油機の普天間基地からの移駐については、平成26年8月26日に15機が移駐完了している。
- ④ 普天間基地所属のCH-46ヘリの老朽化に伴う機種更新のMV-22オスプレイ24機については2年に分けて換装した。

その他、様々な取り組みや、その時の行政や議会の動きについての説明を受けた。

【基地との共存について】

これまでも国の安全保障施策を尊重し、基地の安定的な運用に協力して

きたが、平成26年12月、岩国市総合計画に初めて明記されたとの事。米軍基地のメリットを生かし、日米交流や経済振興など、市の発展のため現実的な視点で取組、航空機騒音や事故等（デメリットの部分）に係る安心安全対策についても、市民の不安を払拭するための施策を実施されている。

（2）海上自衛隊岩国航空基地

【基地の概要】

現在、米海兵隊が管理する日米共同使用の基地となっている。

昭和13年4月に旧日本海軍が建設に着手し、昭和15年に岩国海軍航空隊としてかいせつされた。戦後は、米海兵隊に接收され、昭和27年日米安全保障条約に基づく在日米軍基地となり現在に至っている。会場自衛隊は昭和32年から協働使用を開始し、現在は第31航空群、第111航空隊、岩国システム通信分遣隊が所在している。

『第31航空群』には、検索救難・輸送を行う「第71航空隊」や警戒監視・情報収集・訓練支援を行う「第81航空隊」、航空機整備・補給を行う「第31整備補給隊」、標的機整備を行う「標的機整備隊」、施設・経鼻・経理・衛生・給養等^お行う「岩国航空基地隊」が所属している。

『第111航空隊』には、掃海業務・輸送を行っている。

また、『岩国システム通信隊』では、システム通信を担っている。特に第71航空隊は、水陸両用の救難飛行艇US-1を持って開隊され

遭難船舶の捜査及び乗員の救助、離島などからの急患輸送等を実施している。

そして、開隊以来1,000回以上出動し、1,000名以上を救助している。US-2は岩国基地に常時待機しており、はるか洋上の船舶乗務員や離島の人々にとって心強い存在となっている。

【（１）と（２）の所 感】

個人的には、10年ぶりの視察であったが当時と世界情勢も大きく変化している。今回の視察により、米軍基地や民間空港の有無、位置を含む取り巻く環境などの違いはあるが、同じように海上自衛隊鹿屋航空基地を持つ自治体として、行政、市議会、それぞれの立場でできる事、共存のあり方について深く研究することが出来た。

岩国市議会の方々との意見交換もできた事は、今後、大いに役立つと考える。

（３）海自第一術科学校

【学校の概要】

フェリーに乗船し、海自第一術科に向かう。

学校に到着すると担当者の方が出迎えて下さり、庁舎や大講堂、海上自衛隊第一術科学校教育参考館などの建物や学校の内容について説明を受ける。

1953年9月16日に「海上自衛隊術科学校」創設され、1958年に「海上自衛隊第一術科学校」に改称した。所属組織は、海上自衛隊である。などについて広島県の江田島地区にあり、敷地内には海上自衛隊幹部候補生が併設されている。自衛官に、砲術、水雷、掃海、航海、通信、電子整備、潜水、陸上経鼻等に必要な知識及び技能を習得させるための教育訓練を行うと共に、これらの術科に関する舞台の運用等に関する調査研究を担っている。学校長は海将補が担う。

（４）呉地方総監部について

【概 要】

1954年7月の海上自衛隊の発足に伴い、5番目の地方隊として誕生した。警備区域は、西日本を中心に広範囲に渡り、警備、災害派遣、後方支援、機雷、爆発性危険物の除去及び処理等の任務を担っている。

第一庁舎にて、説明後、世界の海を護衛艦として航海し、今期限りで勇退が決まっている練習艦「はたかぜ」に体験乗船し説明を受ける。

「はたかぜ」は、はたかぜ型護衛艦の一番館として建造され、様々な訓や災害派遣などで活躍した。「はたかぜ」の名前の由来は、「旗に当たってはためかせる風」とのことで艦艇としては3代目である。

73式54口径5インチ単装射砲を備えている。

艦内の通路は狭く、この中を隊員の方々は機敏に動かれる。また、寝室も見学した。機関操縦室では、鹿屋市出身の若い隊員に出会い活躍されていることを知った。

(5) 大和ミュージアム

【概要】

2005年4月呉市に開館され、正式名は「呉市海自歴史科学館」である。

「呉市海自歴史科学館条例」には、目的として、「明治以降の日本の近現代史の縮図ともいえる呉の歴史及びその近代化の礎となった各種の化学技術を紹介することにより住民が歴史絵の理解を深め科学技術への興味と関心を高め、平和の大切さを考えると共に、各州および住民交流の場を提供することにより、地域の教育及び文化の向上並びに観

光の振興に寄与すること」と記されている。

「大和ひろば」には、実部との10分の1のサイズの「戦艦大和」の模型が展示されている。この他、「戦艦陸奥」や「重巡洋艦青葉」に搭載していた主砲身、零式艦上戦闘機六二型等も展示されている。

2階に上がると、1階に展示されている「大和」全体を見る事が出来る。

3階には「船を造る技術展示室」があり、4階は資料室になっている。

観光面では、周辺都市と連携したツアーがあり、地域への経済効果も高いとの事。

【(3)～(5)の所感】

海自術科第一術科学校については、
学校に到着した途端、凜とした空気が流れているように感じた。
歴史ある建物を見学し、学校長からの直接、現状について説明を受ける。
また見学中、偶然、実際に学生さん達の移動風景を拝見した。
教育参考館は、歴史的に重要なものも展示されており、じっくり研修する事が出来、海上自衛隊 鹿屋航空基地との関係についても勉強になった。
呉地方総監部については、

護衛艦に乗船したことは初めてであるが、今は練習艦とは言え、現役時代は大変な事も多かったであろうと想像する。数々の思い出を抱き令和7年3月17日、「はたかぜ」は自衛隊艦旗を返納し除籍となるらしい。
ここで、偶然、鹿屋市出身の隊員にお会いし、健康に気を付けて活動されることを祈った。

大和ミュージアムについては、鹿屋市の「航空基地史料館」が今回リニューアルされるので、地域の物を活かした展示方法などとても参考になった。

今回の全研修を通して、自衛隊員の方々の職務理解と基地との共存、今ある平和のありがたさ、平和教育の大切さ等について、いつもとは違う視点から多くの知識を得、学ぶことができた。これらを更に研鑽し、今後の議員活動に生かしていきたい。

研修費 領収書等貼付台紙

領収証

2025 年 3 月 13 日

西薊美恵子 様

★

¥10,000

但 人口減少社会と地方財政①
資料・動画データ代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田1-2-2

大阪駅前第2ビル2階5-6号室

TEL 050-6868-9678

領収証

2025 年 3 月 13 日

西薊美恵子 様

★

¥10,000

但 人口減少社会と地方財政②
資料・動画データ代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田1-2-2

大阪駅前第2ビル2階5-6号室

TEL 050-6868-9678

研修費 領収書等貼付台紙

領収証

2025 年 3 月 13 日

西菌美恵子 様

★

¥10,000

但 孤独・孤立対策推進法
資料・動画データ代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田1-2-2

大阪駅前第2ビル2階5-6号室

TEL 050-6868-9078

領収証

2025 年 3 月 13 日

西菌美恵子 様

★

¥10,000

但 地方創生2.0と財政
資料・動画データ代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田1-2-2

大阪駅前第2ビル2階5-6号室

TEL 050-6868-9078

研修費 領収書等貼付台紙

領収証

2025 年 3 月 13 日

西園美恵子 様

★

¥10,000

但 これからの議会に必要な財政運営の知識
資料・動画データ代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田1-2-2

大阪駅前第2ビル12階6号室

TEL 050-6368-9849

⑥

研修報告書

1 実施日

令和 7年 3月20日 (木)

2 場所

自宅 (動画視聴)

3 出席者 西園美恵子

4 研修事項

- (1) 「人口減少社会と地方財政①」についてのセミナー
(人と人のつながりの財政)
「立命館大学 森 裕之教授」

5 内容

【研修内容】

- 1、国と地方財政の関連を学ぶ
- 2、自治体財政の要点を知る
- 3、人口減少社会と自治体財政の関係
- 4、令和7年度地方財政対策の概要

まず、自治体が自分で用途を決めることができる財源（一般財源）と用途が限定されている特定財源についての違いを学び、特に一般財源は人口規模と密接に関連している一般財源の重要性及び留保財源についても学ぶ。

人口減少については、所得の減少や空き家の増大に繋がり、地方税も減少する。

よって基準財政需要額の減少となり地方交付税も減少する。

令和7年度地方財政対策の概要については、国の一般財源の総額63.8兆円とその中身について（特に、地方創生と子ども・子育て政策の強化等）学ぶ。

【所見】

鹿屋市も合併から20年目に入るが、その間に人口は約10,000人減少した。また、高齢化も進んでいる。また、2025問題に突入し、社会保障関係費

は増加し、投資的経費や給与関係経費にも影響が出てくるので、財政運営は慎重かつ合理的に実践していかなければならなくなる。

そういった意味でも、鹿屋市も市長がよく述べておられる「選択と集中」がより重要となるので一つ一つを見極めていきたい。

研修報告書

1 実施日

令和 7年 3月20日 (木)

2 場所

自宅 (動画視聴)

3 出席者 西園美恵子

4 研修事項

(1) 「人口減少社会と地方財政②」についてのセミナー

(人と人のつながり)

「立命館大学 森 裕之教授」

5 内容

【研修内容】

- 1、 地方財政制度の概要
- 2、 有利な起債など国が力を入れる予算化されやすいメニュー
- 3、 令和7年度地方財政対策の重要ポイント
- 4、 人口減少社会と自治体財政関係

まず、「人口減少社会と自治体財政①」で学んだことを、より詳しく地方財政制度を歳入と歳出に分け、そこから人口減少による公共施設の集約化・複合化の推進問題にも触れる。

また、国から持続可能な経済社会となるようにと発出された「骨太方針2024」の現状と課題についても学んだ。

次に、都道府県における市町村支援のデジタル人材確保や地域おこし協力隊等、地方への流れの創出・拡大、事業継承等について説明を受ける。

最後に、地方公共団体が、「こども未来戦略」に基づく取り組みに合わせこども・子育て支援機能強化に係る施設整備や子育て関連施の環境改善に向けた取組について学ぶ。

【所見】

今回「人口減少社会と地方財政」①と②のセミナーを通して人口減少問題と地方財政の仕組みを再確認することによりで様々なものが見えてきた。

また、国の地方財政対策は、自治体の財政運営にとって有利なメニューが

毎年提示されるので、議員として常にアンテナを高くし、市民の方々の要望と照らし合わせ、情報を素早くキャッチ出来るように心掛けたい。
人口減少と財政が深く関連していること等、今回学んだことを基に、鹿屋市新たなステージに向けての提言を続けていきたい。

研修報告書

1 実施日

令和 7年 3月20日 (木)

2 場所

自宅 (動画視聴)

3 出席者 西園美恵子

4 研修事項

(1) 「孤独・孤立対策推進法」についてのセミナー

(人と人のつながり)

「立命館大学 森 裕之教授」

5 内容

【研修内容】

- 1、 孤独・孤立問題の広がり
- 2、 孤独・孤立対策推進法の成立と内容
- 3、 「人口減少社会」と孤立問題の関係

・「家族以外の人」との交流が「全くない」或いは「殆どない」と答える人は、先進国の中でも日本は、ダントツで多い。また、本市もそうであるが、単身世帯が増加している。

そこで、世界の流れを受け、「孤独・孤立対策推進法」が2024年に施行された。

次に、その推進法の概要、基本的施策、通知についての説明がある。

また、地域共生連携ネットワークの先進事例について説明を受け、本市が参考に出来ることがないか考えた。

最後に、良い人間関係を作るための「3教訓」について学んだ。

【所見】

孤独は、公衆衛生上の重大な問題であり、孤独から生じるストレスにより免疫の低下や認知症、高血圧等のリスクが高まり、特に認知症とは強い相関関係があると言われる。

私の住む校区域内でも孤独死をされた方が3名いらっしゃるので、この問題については、何度か議会でも質問をした。

彼らは、独居世帯ではあったが、友人や地域との繋がりもある程度あり、民生委員さん等も定期的に訪問をされていたが悲しい結果となった。

本市でも、様々な取り組みが行われている。

しかし、孤独死、或いは行方不明者もなくなる現状の中で、今回のセミナーを受け、今、何をなすべきか、何に取り組むべきかの方向性を導いて頂いたと考える。

研修報告書

1 実施日

令和 7年 3月21日 (金)

2 場所

自宅 (動画視聴)

3 出席者 西園美恵子

4 研修事項

(1) 「地方創生2.0と財政」についてのセミナー

(人と人のつながり)

「立命館大学 森 裕之教授」

5 内容

【研修内容】

- 1、 地方創生とは何か
- 2、 地方創生1.0の評価
- 3、 地方創生2.0の始まり
- 4、 地方創生と「人と人のつながり」

・ 地方創生とは、2014年に施行せられた「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、人口減少社会の克服と、将来に渡る成長力の確保を実現することで「活力ある日本社会」を維持するための政策と取組。その為には、「活力ある地域社会の実現」と「東京一極集中の是正」を共に目指すことが必要であるが成果は薄かった。そこで、今回の地方創生の為の交付金の推移と新しい地方経済及び生活環境創生、所謂、「地方創生2.0」についての説明を受ける。

【所見】

今回のセミナーを通して、地方創生は時代の中で必要とされる施策ではあるが、成果を考えると、まだまだ手探りの状態であることが分かった。

本市も、他市同様、若者の県外流出防止のため、また、本市に移住者を呼び込むため試行錯誤を繰り返している。

しかし、今後も、人口減少などの取組の成果がなければ、財政観点から見た時、国から地方への財源は抑制されていく可能性があるので、早急にこの問題に取り組まなければならないと考える。

そして、今こそ、コロナ禍で学んだ、「人と人のつながり」を重視した実践を組み込んだ「地方創生2.0」を作り上げていかなければならないと考える。

研修報告書

1 実施日

令和 7年 3月21日 (金)

2 場所

自宅 (動画視聴)

3 出席者 西園美恵子

4 研修事項

- (1) 「これからの議会に必要な財政運営の知識」 についてのセミナー
(人と人のつながり)
「立命館大学 森 裕之教授」

5 内容

【研修内容】

- 1、議会の役割は「予算をつけること」
- 2、自治体の最も大切な財源は「一般財源」 (地方税+地方交付税)
- 3、あらゆる施策の中に「人と人のつながり」を

- ・地方議会の役割は、予算を決定し価値を実現する事であり、2つは相互に作用し、これらは地域の暮らしの発展につながる。
また、一般財源が重要視される理由と財政負担、先進地事例の説明もあった。
最後に、「人と人のつながり」の観点を入れる施策づくりについて学んだ。

【所見】

今回のセミナーを通して、財政の知識を活用し、それぞれの立場から議会で取り組むことの重要性を学んだ。
また、今後、人口減少・高齢化が益々進むなか「拡大する住民ニーズとひっ迫する一般財源」との狭間で、政策判断が困難になってくる自治体もあるという事を再認識した。
そうならないように議会としてどう取り組むか？

本市の特徴も考慮し、鹿屋市に住んで良かったと言われるような取組と健全な財政運営が引き続きなされるよう私自身も研鑽を重ね、注視していきたい。

項目	合計
会議費	2,000円

別紙No()

月	日	品名	金額	支払先	領収書番号
令和6 年9	19	令和6年度会費	2,000	鹿児島県農業教育新興 会	⑦
		計	2,000		

⑦

領 収 書

No. 
令和 6 年 9 月 18 日

鹿屋市議会議員
西園 美恵子 様

¥ 2,000 円

但し、鹿児島県農業教育新興会会費として
上記正に領収致しました

鹿児島県農業教育新興会 

資料購入費 領収書等貼付台紙

領 収 証		No. [REDACTED]
西菌 美恵子 様		2024年09月13日
印 紙	金額	¥ 6 8 2 0
	但し	外国人民間金融機関の口座振替等(1,200円) クレジット 上記の通り領収致しました。 企業防犯システム(1,000円) その他
内 訳	取扱店舗	
消費税 金額 (税込) 6,820	〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街1-1 JR博多シティ8F	品 目
消費税 率 (税率) 10% 消費税額等 620	MARUZEN 博多店	[REDACTED]
消費税 金額 (税込) 6,820	TEL092-413-5401 FAX092-413-5402	[REDACTED]
消費税 率 (税率) 10% 消費税額等	登録番号: T9010001134416	株式会社 丸善ジュンク堂書店

*金額を訂正したもの、及び社印のないものは無効です

登録番号: T9010001134416

領収証番号 [REDACTED] 2024年09月13日 No. [REDACTED]

領収証 西菌 美恵子 様

金額 ¥1,100-

内クレジット利用計 ¥0(内消費税等 ¥0)
内現金扱い等計 ¥1,100(内消費税等 ¥100)
書籍・文具等 ¥1,100(内消費税等(10%) ¥100)

但し 「防犯」のやつはいりないとして 税込 ¥1,100 [REDACTED]

上記正に領収いたしました。
丸善 博多店
〒812-0012福岡市博多区博多駅中央街1番1号JR博多シティ8F
電話092-413-5401

明細書

西蘭美恵子

様

株式会社 紀伊國屋書店
福岡本店

〒812-0012
福岡県福岡市博多区博多駅中央街2-1
博多バスターミナル6F
TEL 092-434-3100 FAX 092-434-3104

担当者: 

2025年 02月 05日

1 ページ

商品コード	書名/商品名	著者	出版社	税率	冊数	本体単価	金額
9784296119929	新データで読む地域再生	日本経済新聞社地域報道セ	日経BP	10%	1	1,900	1,900
9784474091337	公民館における災害対策ハンドブック	全国公民館連合会	第一法規出版	10%	1	2,000	2,000
9784866921693	地方の地域福祉	坂本毅啓	大学教育出版	10%	1	2,600	2,600
9784074606061	マンガでわかる! プレコンセプションケア	佐藤雄一 (産婦人科医)	主婦の友社	10%	1	1,600	1,600
9784480075543	人口減少時代の農業と食 (ちくま新書)	窪田新之助	筑摩書房	10%	1	920	920
9784004320289	介護格差 (岩波新書)	結城康博	岩波書店	10%	1	1,000	1,000

合計: 合計冊数 6
 本体価合計 ¥10,020
 総合計 ¥11,022
 (内消費税 ¥1,002)
 (10%対象 ¥11,022 消費税 ¥1,002)

領収証

西蘭美恵子

様

2025年02月05日
内訳

¥11,022-

現金

¥11,022

(内消費税 ¥1,002)

(10%対象¥11,022 消費税¥1,002)
 但し 図書種代として 別紙に明細あり(6冊分)

上記金額正に領収致しました
 株式会社紀伊國屋書店 福岡本店 登録番号 T4011101005131
 TEL 092-434-3100 担当者 

13

資料購入費 領収書等貼付台紙

領 収 書

令和7年3月10日

西菌 美恵子 様

一金 8,400 円也

但し、全国農業新聞購読料(令和6年4月～令和7年3月分)
として上記正に領収いたしました。

全国農業新聞取扱者
鹿屋市農業委員会事務局
振興係

13